

ニッポニ

VOL.49

(にっこり (笑顔) + コミュニティ (地域) + クオリティ (生きいき))

皆さまにはいつも大変お世話になっております。年度が変わりましたがコロナ禍のため思うように活動ができない日々が続いていますが、皆さまの事業にもさまざまな影響があることと拝察いたします。今回は令和2年度の北西部地域包括支援センターの業務実績をご報告いたします。ここにもやはりコロナの影響がありました。

TOPIC 1

令和2年度北西部地域包括支援センター実績報告



総合相談支援業務

令和2年度の新規相談の件数は445件で前年度の400件より45件の増加。新規相談に関わる自宅訪問件数は673件で前年度の1016件より大幅に減少しました。これは新型コロナウイルスの蔓延防止により、自宅訪問をひかえた時期があったことが影響しています。相談内容の内訳は以下のとおりです。

内訳 (重複あり)	令和2年度	令和元年度	平成30年度
介護保険サービス	287件 (59.1%)	312件 (77.4%)	301 (84.0%)
在宅医療介護連携	68件 (14.0%)	37件 (9.1%)	21件 (5.8%)
生活・住居・家族問題	49件 (10.1%)	19件 (4.7%)	19件 (5.3%)
認知症	28件 (5.8%)	11件 (2.7%)	6 (1.6%)
医療・疾病	14件 (2.9%)	5件 (1.2%)	5 (1.3%)
権利擁護 (虐待含む)	6件 (1.2%)	6件 (1.4%)	1 (0.2%)
その他	33件 (6.8%)	13件 (3.2%)	5 (1.3%)
合計	485件	403件	358件

令和2年度の傾向としては、介護保険サービスに関する相談が減少していますが、生活・住居・家族に関わる相談が増えており、中でも高齢者を取り巻く環境や親族に課題が生じているケースが多く見られました。また在宅医療介護連携に関わる相談が増えていることから、在宅復帰に向けて医療機関と連携する機会が増加したものと考えられます。

包括的・継続的ケアマネジメント

毎年実施している主任介護支援専門員向けの研修は、新型コロナウイルスの蔓延防止のため令和2年度は実施できませんでした。その他にも市内や道内の研修会や会議の多くが中止となり、前年度は52回あった「研修・セミナー」への参加が19回と少なくなっています。そのうちの12回がオンライン（ZOOM）での研修でした。困難事例の地域ケア会議は3回（令和元年度1回）実施しており、広報活動は6回実施しています。

権利擁護業務

権利擁護に関する年間の対応件数は32回（前年度37回）で、新規対応ケースは6件。そのうち虐待事例2件（前年度4件）でした。困難事例は住居問題、親族の問題、多頭飼育による飼育崩壊などがありました。

介護予防ケアマネジメント業務

- ・令和3年3月の給付管理数は327件（前年度313件）予防給付（予防ケアマネジメント含む）に関わる訪問件数は令和2年度は2733回（前年度3682回）新型コロナの蔓延防止のため定期訪問をひかえたことが回数にあらわれています。
- ・認定調査（介護支援専門員資格のある7名で担当）は55件（前年度169件）
- ・シニア元気教室（地域版介護予防教室）

新型コロナが全国的に流行したためシニア元気教室は休止しました。9月、10月に一部の教室を開催したものの、市内でクラスターが発生し再度全面的に休止となりました。

【シニア元気教室 令和3年度の予定】

- ・「笑顔」長栄会館、「ひまわり」塩谷丸山下会館は4月から再開。
- ・「いきいき」赤岩会館、「しおかぜ」塩谷サービスセンター、「なえぼ」長和会館「はぴねす」幸会館は今後再開の予定で準備中。
- ・「わいわい」オタモイヤすらぎ荘は再開未定。

認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター業務

- ・認知症初期集中支援チームとしての活動は0件

40歳以上で在宅生活をしている認知症が疑われる方で、継続的な医療介護サービスを受けていない方が対象ですが、令和2年度は該当するケースがありませんでした。

- ・小樽オレンジかふゑわいわい店（特養やすらぎ荘内）は新型コロナの蔓延防止のため令和2年度は中止。令和3年度も開催は未定です。

TOPIC 2 令和3年度介護報酬改定 ～CHACEとVISITをあわせてLIFE???

「またまたよくわからない横文字が～」と今回の介護報酬改定の情報を見て、ついつい拒否反応が…高齢者の状態とケアの情報（CHACE）およびリハビリテーションの情報（VISIT）を合わせたデータベースを活用するシステムがLIFEと呼ばれる「科学的介護情報システム」です。これからの介護は医療と同じようにデータベースに基づいてエビデンス重視になることが予想されます。コロナ禍も加わってますますICTも必要になるでしょうテクノロジーについていくのがさらに大変になりそうです。

北西部地域包括支援センター職員（令和3年4月1日現在）

管理者・社会福祉士	斉藤 彰子	社会福祉士	坂上 ひとみ
保健師	川崎 里美	看護師	植松 まみ
主任介護支援専門員	今野 尚未	主任介護支援専門員	須田 繁
主任介護支援専門員	本間 潔	介護支援専門員	森 保子

広報紙を通して、事業所のみならずとの双方向のコミュニケーションができるようになればと思います。

ご意見・ご感想・ご質問などを、お寄せ下さい。

笑顔のまちづくりに取り組みます。今後も北西部地域包括支援センターをよろしくお願い致します。



小樽市北西部地域包括支援センター

mail: houkatsu@otaru-ikuseiin.or.jp

小樽市オタモイ1丁目20-18 TEL 0134-28-2522 FAX 0134-28-2523